

No.922(二〇〇五年一月一・二日合併号)から
No.954(二〇〇五年二月二一日)まで

No.922 (二〇〇五年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇ ますます増税オンパレード

原 義弘

年金所得控除の引き下げ、配偶者特別控除の廃止等の影響試算

「福祉サービス」を儲けの対象化

塚本 鉄男

― 社会保障、自己責任そして公的年金(上) ―

東海林 和夫

― 合併 するも地獄しないも地獄」そのはざま ―

― 山形県遊佐町にみる市町村合併 ―

稲村 守

基礎体力をつくる ― 労働運動の現状と課題 ―

金平 博

「二〇四七名」の統一した陣形こそ勝利の力

― 鉄建公団裁判結審、「判決」に向けた闘いI
国のわく組みを変える国づくり、人づくり(改憲、教育基本法改悪) 稲葉 耕一

― 新自由主義と国家主義から考える ―

編集部だより 読者からのおたより

No.923 (二〇〇五年一月二一日)

◇巻頭言◇ 「支払い能力論」が経労委報告の眼目

滝野 忠

◇資料1◇ 経営労働政策委員会報告・要旨(経団連、〇四・十二)

「人材力」育成などを強調

◇資料2◇ 経団連会長メッセージ・要旨(経団連タイムス、〇五年一月一日)

教育現場に競争原理と評価制度

時代閉塞の現状での希望への脱出口(二)

六津 五郎

鉄建公団訴訟「公正判決を求める五十万署名」獲得

木山 誠二

― 勝利判決をもぎ取る抗議行動の全面展開を準備しよう! ―

グローバルズム ― 現代資本主義の基層(一) ―

社会保障は歴史的産物 ― 社会保障、事故責任、公的年金 ―

読者からのおたより 編集部だより

No.924 (二〇〇五年二月一日)

◇巻頭言◇ ジャーナリズムの原点 ― 寺田 寅彦のジャーナリズム論 ―

西村 昭

東京の教育

労働組合は必ず再生する ― 労働運動の現局面と強化への課題 ―

滝野 忠

『共産党宣言』のグローバルズム ― 現代資本主義の基礎 ―

伊勢 太郎

人類救済の有効な哲学とは ― 時代閉塞からの脱出口(二)

六津 五郎

消えゆくドル

ザ・エコノミスト

― この世界で最も重要な基軸通貨はいつまでその地位をたもてるか? ―

読者からのおたより

編集部だより

No. 925 (二〇〇五年二月一日)

◇巻頭言◇ 自由(フリーダム)という名の専制(タイラニー)

ブッシュの大統領就任演説を読む

憲法問答 — 親と子の憲法9条・25条—

激変した図書館 — 図書館職場の現状と運動の展望—

パンドラの箱—現実・希望・理想主義—

—時代閉塞からの脱出口(三)—

○五年春闘は経団連の考えどおり進む

◇資料(財)社会経済生産性本部 平成一七年運動目標◇

「政治改革による新しい国づくり」めざす

個人の良心を貫く闘いから大衆闘争へ

—「新しい年を、反撃開始の年に!」—

読者からのおたより

編集部日より

労働運動センター主催

「私たちの創る労働運動」にご参加を!

日時 二〇〇五年二月二〇日(日) 午後一時三〇分〜六時

場所 中野勤労福祉会館

No. 926 (二〇〇五年二月二一日)

◇巻頭言◇ 経団連賃上げ「容認論」再論

—トヨタ労資に「ハイジャック」された労働運動—

「青年の力」武器に学習、行動

—「韓国労働運動に学ぶ青年の船」から—

◇資料全国公務員労働組合(KGEU)上〇〇五年一月一三日

—韓国公務員関連法案へのKGEUの見解—

不安定労働者組織化が大きな課題 — 労働組合組織率低下が示すもの—

投票率六〇%というけれど — 選挙後のイラク—

◇読書のすすめ◇

数字で見る労働者の状態—○五データーブック—コンパクト、それでいて重厚

高まる小泉政治、保守二党制批判 —○五年政局のゆくえ—

シンポジウム —『偏新たなる展望上高次脳機能障害への挑戦』

読者からのおたより

No. 927 (二〇〇五年三月一日)

◇巻頭言◇ 市町村合併破綻

オナーシップ・ソサイエティーと年金改革 —ブッシュ演説の真意—

JR新宿駅の安全とバリアフリー

—南口のエレベーター設置で見てきたもの—

報道への政治介入を許さないためのアピール 戦争法反対いばらき女性の会

テレビ番組に参加し感じたこと

沖縄の現状と反戦・平和の課題 「9プラス25」

社会主義国家が消えた —現代とグローバリズム(三)—

読者からのおたより

伊勢太郎

滝野 嘉津子

滝野 忠

高坂 勇三

六津 五郎

大野 昭之

No. 928 (二〇〇五年三月一日)

◇巻頭言◇ 子どもに「あぶない教科書」をわたしてはならない 佐野 周二

―「子どもの未来を考える十勝連絡会」設立―

ハンブルグ大火災そしてスマトラ沖ツナミ ―ハイネ『冬物語』と現代社会―

◇新社会党兵庫県本部の震災十年アピール(〇五・一・一七)◇

―震災は終わっていない―

これからの労働運動強化戦略 ―私の労働運動再建論(上)― 小西 純一郎

安く買って高く売る ―会社売買が貨殖の中心に―

綱渡りのバランス棒は? 六津 五郎

―「第八回許すな!憲法改悪・市民運動交流集会」に参加して―

読者からのおたより 編集部だより

No. 929 (二〇〇五年三月二日)

◇巻頭言◇ 「『殺し』に感覚がマヒしてきた」

政治攻勢強める経団連 ―9条改悪に焦点―

地域から「短時間」(パート)労働者の組織化

―これからの労働運動強化戦略(下)―

資本の論理と企業の論理

低くなる一方の権利意識、政党支持

―NHK「国民の意識調査」結果から―

読者からのおたより 編集部だより

No. 930 (二〇〇五年四月一日)

◇巻頭言◇ 見えてきたブッシュの新世界戦略

―「自由な帝国」づくりに三つの手段―

生産性運動五十年下の「春闘」

―労働運動は新たな時代に入った―

『サヨナラホームラン』 ―能力主義、その評価―

改憲は自民党・保守政治家の宿願だった

―憲法問題の深層(一)―

退職再雇用で資本はポロ儲け

中野さん、六甲嵐の中

―颯爽と駆け抜ける―

企業支配に何か起きている

―希望退職に予想こえる応募―

既存活動家の意識改革、運動構造の改革

―広島の地から想いを込めてI―

読者からのおたより

編集部だより

小西 純一郎
滝野 忠

伊勢 太郎

佐野 修吉

土屋 信三

No. 931 (二〇〇五年四月一日)

◇巻頭言◇ — ゆうメイト物語

輸入超大国、米国のゆくえ

憲法は国家論そのもの — 憲法問題の深層 (二)

労働現場と「障害」者運動は矛盾するか

— J R 労働者からのお手紙に思う —

省子不からゆとり創造に目的変更

— サマータイム法案の上程に反対する意見 —

◇資料英国の「ネイチャー」誌報道 (要旨) ◇ 断定的なものではない

横田めぐみさんの遺骨鑑定 帝京大講師が認める

読者からのおたより

編集部日より

二宮 基

伊勢 太郎

滝野 嘉津子

鴨田 哲郎

No. 932 (二〇〇五年四月二日)

◇巻頭言◇ 都教委の暴走に歯止めをかけよう！

義は、われらにあり

資本の論理は「三角術」 — ライブドア、フジサンケイグループのバトル —

軍隊、戦争、国家 — 憲法問題の深層 (三) —

「人らしく」とはを問い直した — ランニングキャラン —

北海道「国労闘争団激励」「交流の旅」へのおさそい

— 旅程は六月一二〜一四日、二泊三日です —

郵政はどこへ行くのか

定 年

— 「ライフワーク」(護憲運動) に打ち込む —

読者からのおたより

編集部日より

K 生

No. 933 (二〇〇五年五月一・二日合併号)

◇巻頭言◇ 日本と中国・韓国のキシミ

日本の保守・反動化か根本

総評労働運動の解体 — 生産性運動の五十年 —

向坂先生追悼座談会 (一九八五年一月末)

『資本論』以上に先生の座談に生き方学ぶ

向坂塾『資本論』研究会を語る

総保守のねらいは丸染二項と前文

— 憲法問題の深層 (四) —

ミネルヴァの巣と《歴史》

泥沼にはまってしまった

自治体リストラの状況

読者からのおたより

滝野 忠

編集部

伊勢 太郎

増田 都子

伊勢 太郎

山崎 秀一

「旅」事務局

No. 934 (二〇〇五年五月二一日)

◇巻頭言◇ 現場無視の労務管理が根本原因

― J R 西の脱線事故 ―

大佛 一郎
原 義弘

『職員厚遇』問題の意味するところ
― 医療保障の充実を求め、憲法改悪に反対する立場からの見解 ―
予断許さぬ憲法論議

― 自治労「国の基本政策検討委員会」中間報告について ―

◇資料◇ 自治労「国の基本政策検討委員会」(二〇〇五・三・九)

― 国の基本政策検討委員会中間報告・要旨 ―

「改憲」新聞はソレ行け、「護憲」新聞は迷い

― 新聞ジャーナリズム、五月三日「社説」 ―

情報技術革命と電話サービス ― コールセンターの組織化(上) ―

◇資料◇ 衆院憲法調査会中山太郎会長のインタビュー

組合員の死を実績にリンク ― 農協職場と J R 西日本 ―

読者からのおたより

畠山 勝巳

No. 935 (二〇〇五年六月一日)

◇巻頭言◇ 労働運動再生こそ J R 西大惨事被害者に報いる道

― 二〇〇五年のメーデーに思う ―

組織化こそ最大の課題 ― 情報技術革命と電話サービス(下) ―

民営化、競争、利益優先という「戦争」

― J R 福知山線電車脱線事故に思う ―

国鉄「分割民営化」 ― 利益優先の経営が「殺人」を生む! ―

国労名寄闘争団

北海道の鉄路が危ない!

旧国鉄時代から変わらなない、経営陣・管理者側の本質……………

― 安全問題と、分割民営化の諸問題をリンク ―

赤峰 正俊

日本国憲法に守られて六〇年

― 今度は私たちが憲法を守る番 ―

読者からのおたより

No. 936 (二〇〇五年六月一日)

◇巻頭言◇ 「安全」問題への労働組合の責任

― J R 労資関係にメスを ―

滝野 忠

現代情勢の特徴について(一)

◇福知山線脱線事故を取材して◇

自己判断否定させる労務管理と労働組合攻撃

京成労組電車支部

― 利益優先のスピードアップが招いた大惨事

小泉政治の四年

生きることが闘い

太田 耕造

― 「障害」者が生きるためにかける「迷惑」 ―

岩井さんの菩提寺を訪ねて

横田 厚

読者からのおたより

No. 937 (二〇〇五年六月二一日)

◇巻頭言◇ 戦争は絶対にあかん これからも平和憲法を

稲葉 耕一

― 第一回奈良憲法まつり ―

憲法・平和の意義、護憲のための根拠と視座を示す本

岡村 隆志

― 「総批判改憲論」 深野義一ほか編 ―

最前線〈現場〉で闘う者は傷つくが、〈言説〉屋は傷つかない

六津 五郎

国の基本政策問題で深刻な論議へ ― 連合労働運動の現状について ―

◇資料 二〇〇五春季生活闘争の中間まとめ(連合・二〇〇五・六・一) ◇

取り組みの評価と課題、検討課題(上)

「武士道精神」こそ新しい価値観 ― 経団連第四回総会から ―

◇資料 日本経団連総会決議(二〇〇五年五月二六日) ◇「企業のパワーを引き出す」

読者からのおたより

No. 938 (二〇〇五年七月一日)

◇巻頭言◇ 労働運動に哲学を ― 労働者の階級的連帯のために 土屋 信二

◇自治労「国の基本政策検討委員会最終報告」◇

中央委員会です承 今夏の大の方針が焦点

― 自衛のための「最小限防衛力」を認め平和基本法の制定めざす ―

日本労働弁護団

いじめ、業務ストレスの相談が急増

― 全国一斉労働トラブラー ― 〇番の結果について ―

◇資料と解説◇「春闘改革」とは春闘を終焉させること

「二〇〇五春季生活闘争の中間まとめ」について(下)

日本の常任理事国入りは「夢物語」? ― 現代情勢の特徴について(二) ―

高次脳機能障害のセンターとして再建 六万五八四筆の署名を厚労省へ

第七次上京団・大牟田労災病院廃止反対連絡会議

読者からのおたより

No. 939 (二〇〇五年七月一日)

◇巻頭言◇ 四七人が「北の大地」へ

滝野 忠

― 裁判たたかう全原告団と交流 ―

“国鉄民営化殺人”を喝破

稲村 守

― JR尼崎事故を検証する京都シンポジウム ―

鉄道運輸機構訴訟を背景に

鉄道運輸機構原告団

政府責任での解決を迫る闘いの現状と課題

地域共闘の活動に驚き

南 晃

― 北海道国労闘争団「激励交流の旅」 ―

激励団・現地から多彩な報告

佐野 周二

― 「国鉄」・教育・憲法を考える十勝集会 ―

伊勢 太郎

イラクの実態は内戦だ!

編集部

― 〇五年労組大会シーズンにあたって(二) ―

国鉄闘争勝利「七・一五集会」に参加を!

読者からのおたより

No. 940 (二〇〇五年七月二一日)

◇巻頭言◇ 今、改めて従軍慰安婦問題を問う
議会制民主主義、都議選では

永田 悦子

「国鉄分割民営化」、憲法、教育基本法

編集部

― 憲法を考える基本問題について―

◇資料◇ 平和基本法と国際貢献のあり方 (自治労)
自衛のための「最小限の防衛力」容認

◇労組大会前半の特徴 (二) ◇

安全と民営化めぐって ― J R 二労組そして郵政二労組―

読者からのおたより

No. 941 (二〇〇五年八月一日)

◇巻頭言◇ 流れと勢いを加速し勝利判決へ

佐久間 誠

◇資料◇ 七・一五全国集会アッピール (国鉄共闘会議)

三組合、四つの原告団が連携し

世界政治は新たな転換点に ― 第三十一回「サミット」が示したもの―

二ヶ所で「教科書集会」

佐野 周二

― 十勝 (帯広) 集会に千二百人―

日本教職員組合 (二〇〇五年七月一三日) ◇

栃木県大田原市教育委員会による「つくる会」主導の

歴史・公民教科書 (扶桑礼服) 採択に対する書記長談話

トヨタ生産方式とはなにか

貯蓄から投資・投機へ ― 郵政民営化の真の目的―

読者からのおたより 編集部だより

No. 942 (二〇〇五年八月一・二一日合併号)

◇巻頭言◇ 闘争団の子どもたち

金児 順一

― 七年目にして甲子園出場の悲願達成!

四つの案が入り乱れて ― 「国連改革」をめぐる状況―

伊勢 太郎

◇労働組合大会前半の特徴 (三) ◇

労働条件、さらに憲法問題が焦点に

労働運動の根本問題

職場からの質問意見は変わらず ― 私鉄総連大会―

自治労破壊攻撃、そして憲法問題 ― 自治労が直面する諸問題―

教育基本法改悪では「教育危機宣言」も―日教組大会―

ベア要求復活の意見相次ぐ ― 電機連合大会―

憲法九条改正し安保基本法制定! ― 連合労働運動の現状―

資料 国の基本政策に関する連合の見解 (五・七・一四)

資料 運動をどうすすめるか (憲法問題) ― 日教組〇五年運動方針

今年の夏が勝負―アスベスト労災

企業別反合理化闘争の強化

鈴木 賢二

― 現情勢と労働運動の課題―

読者からのおたより

No. 943 (二〇〇五年九月一日)

◇巻頭言◇ 五年後には一〇〇〇人のユニオンへ

武庫川ユニオン第一八回定期大会

武庫川ユニオン

解散総選挙の「虚と実」

滝野 忠

現情勢の特徴と我々の課題

羽川 健治

―八・一自民党新憲法草案発表 八・八郵政民営化参院否決・衆院解散―

酒井 浩二

J R 尼崎事故と労働運動
―「七・二八 J R 尼崎事故を考える集会」あいさつ―

藤原 了

構造改革は間違った処方箋
―トレンド変換の触媒となれ 九・一一総選挙―

伊勢 太郎

A F L ・ C I O 分裂
戦争を再びくり返すな！ ―二〇〇五年平和まつり、天理にて―

稲葉 耕一

No. 944 (二〇〇五年九月一日)

◇巻頭言◇ 戦後民主主義の弔鐘を鳴らさせるのか
小泉ファシヨ政治に反対を ―〇五衆院選の焦点―

六津 五郎
滝野 忠

昇り辛くなったアメリカの階段
―階級ははつきりしなくなっているが、強固に存在する―
後を絶たない異常事態を踏まえ、緊急な安全対策を

―日本航空八組合が声明―
原和美さんと総選挙闘争に勝利しよう 9 プラス 25 改憲阻止市民の命
―危険な小泉流政治手法ファシズムの登場を許すな―

読者からのおたより

No. 945 (二〇〇五年九月二一日)

◇巻頭言◇ ハリケーン「カトリナ」が暴いた米国
六ヶ国協議成功への道

滝野 忠

憲法九条「改正」に反対 ―私鉄総連、連合「改憲」案に意見書―

9・15判決を前に積極の方針示せず！ ―国労全国大会から― 金平 博

企業年金減額を止めさせよう
―N T T、いまだ厚労相へ減額申請せず―

伊勢 太郎

群れて流れて、自民圧勝
―国鉄「分民」そして郵政「民営化」―
アスベスト被害の掘り起り起こしと救済を！ 明石ユニオン
東京の非民主的教育行政に対するたたかい 西村 昭
読者からのおたより

◇学習会のご案内◇労働契約法「中間まとめ」

講師 鴨田 哲郎 (日本労働弁護団幹事長)

日時 九月二九日 (木) 午後六時三〇分

会場 富士見区民館 (飯田橋下車・徒歩五分)

主 千代田区富士見一六―七 電話〇三―三二六三―三八四二
催 労働運動センター

No. 946 (二〇〇五年一〇月一日)

滝野 忠

◇巻頭言◇ 米朝信頼関係醸成がカギ —進展した六ヶ国協議勝利解決への大きな足がかり— 九・一五判決について—

◇資料1 原告団・弁護団・共闘会議「声明」◇
不十分な判決、認められず

◇資料2 鉄道・運輸機構「コメント」(九月一五日)

判決には控訴

◇資料3 ◇「九・一五」判決への国労の声明

◇資料4 北海道新聞社説(九月一六日) ◇

国労差別 不法行為の判断は重い

『労働者には希望がある』を読みて

「つくばエクスプレス」と交通バリアフリー—

—障がい者団体の点検乗車から—

競(狂)争「三重奏」

—つくばエクスプレス(TX)と地域社会—

職員厚遇問題の「その後」

読者からのおたより

『国鉄まつり』にご参加を

日時 十月十六日(日) 午前十時より

場所 亀戸中央公園

読者からのおたより

編集部日より

No. 947 (二〇〇五年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 階級闘争と憲法

国鉄の不当労働行為認定!

9・15判決控訴審で全面解決を目指す10・14総決起集会

日本はどこへ —衆議院選挙結果に想う—

◇組合大会後半の特徴(一) ◇

「郵政選挙」、AFL・CIO分裂のはざままで

組拡、CSR、「社会的労働運動」

連合会民選に名乗り(UIゼンセン同盟)

憲法、地域給導入で激しい論議

—自治労大会—

全国一般・自治労と統合

憲法擁護、そして組織拡大

—全労連運動の現状—

「上げ幅」賃闘から個別賃金、CSRへ(JC)

窮極の労働法制「規制緩和」

—労働契約法比について(一)—

読者からのおたより

松枝 佳宏

佐治 孝典

編集部

編集部

松村 清治

No. 948 (二〇〇五年一月二一日)

◇巻頭言◇ “運動”の失敗・敗北から学ぶ
オキナワと信州・マツシロを結ぶ

花井 吉宅
地区労字都宮

―第二六回全国地区労交流会、最大規模で開催―

◇組合大会後半の特徴(二)◇

組織間の矛盾が高まる ―連合労働運動の現状、第九回大会から―

「九・一五判決」めぐり議論(全労協大会)

「愛国的」労働運動への誘導(社会経済生産性本部)

「よくよく考えて」有権者は投票

小山 椒

―ドイツ連邦議会選挙の意味、日本との違い―

読者からのおたより 編集部日より

No. 949 (二〇〇五年一月一日)

◇巻頭言◇ 二月臨時全国大会、JPU民営化方針へ転換

新たな制度でさらなる大改悪 ―新高齢者医療制度―

原 義弘

首切り自由、自由な搾取がねらう

編集部

―労働契約法について(二)―

車いす使用者、乗車行動 ―理不尽なJRの乗車拒否―

滝野 嘉津子

乗車拒否をなくすために

今福 義明

―二〇〇五年 障害者の「移動権」獲得宣言(案)―

滝野 忠

台頭する民族主義 ―ラテンアメリカの情勢について―

読者からのおたより

No. 950 (二〇〇五年一月一日)

◇巻頭言◇ 日本の政治はどうなる

滝野 忠

自民は「国民政党」から独占資本の党へ

編集部

首切り自由、賃下げ自由

編集部

―労働契約法について(三)―

要求基準示さず、「パート共闘」立ち上げ

編集部

―連合「〇六春闘基本構想」の特徴―

◇資料◇二〇〇六春季生活闘争の基本構想案(連合・要旨)

基本スタンスと具体的課題

編集部

「国鉄」教育・憲法を考える(上)

滝野 嘉津子

壊れゆく高齢者・障がい者の介護・支援制度

滝野 嘉津子

―自治体の激変緩和措置に期待!―

滝野 嘉津子

◇北から南から 国鉄闘争を闘う!◇

滝野 嘉津子

加藤弁護士東京地裁判決を斬る! 二五〇名が怒・涙

大分連帯する会

不当労働行為認定の判決を土台に「納得いく解決」を

十勝連帯する会

増田先生をただちに教壇に戻せ!

東京都学校ユニオン

―野蠻・違法な処分&隔離研修の撤回を!―

東京都学校ユニオン

読者からのおたより

No. 951 (二〇〇五年一月二日)

◇巻頭言◇ 国鉄闘争 裁判所内外での闘いを解決に繋げよう

国労紋別闘争団

―控訴審を有利に展望し政府に決断を求めます―

自治体の民営化を狙う指定管理者の導入に反対討論

山下 けいき

共同してたたかえ ―労働契約法、すべての労働組合が反対―

編集部

資料1 「今後の労働契約法制の在り方に関する研究会」報告についての談話 (連合)

容認できない

資料2 「今後の労働契約法制の在り方に関する研究会」最終報告について (全労連)

リストラ促進法

資料3 労働契約法を始めとする労働法改悪に反対する決議 (東京全労協)

こんな労働契約法はいらない

資料4 労働契約法制に対する使用者側の基本的考え方 (日本経団連)

解雇の金銭解決制度の早期導入要求

部屋でる時は行き先告げろ

増田 都子

―研修センターでの人権侵害―

強盗団、仲間との再会、貧困の根拠

土屋 信三

―ブラジルの大地を踏みしめて―

アスベスト、徹底した被災者救援を

松枝 佳宏

―構造改革への対抗戦略 労災・職業病は敵のアキレス腱―

読者からのおたより

No. 952 (二〇〇五年二月一日)

◇巻頭言◇ 本物と偽物

滝野 忠

フジモリの出国

編集部

―これは日本の帝国主義政策の一環だ―

日教組が「教育の危機宣言」

―義務教育費国庫負担制度廃止で教育荒廃は必至―

資料 教育の危機宣言 (日教組)

子どもたちは明るい未来のために、義務教育費国庫負担制度の存続を！

東京都人事委が給与引き下げ勧告

―制度改革として旧制度大改悪 公務員労働者と連帯しよう―

◇福祉問題シリーズ①◇

老年人・年金生活者に大増税

原 義弘

社会保険料も大幅アップ

自立支援法は障害者殺人法だ！

里内 龍史

―障害者の生活と命を脅かす法成立を糾弾―

やっぱりイラクは戦場だ

九条二項「戦力放棄」から自衛軍へ

園田 裕子

―自民党「新憲法草案」の要点―

読者からのおたより

編集部からのたより

No. 953 (二〇〇五年二月二日)

◇巻頭言◇ 「万世一系」の矛盾

―天皇制の危機―

◇資料◇ 血統より存続願う伝統 「万世一系」というトリック

―皇族の人権 尊重を女帝論議のために―

やっぱり信頼関係が根本だ

―第五回六ヶ国協議について―

改憲は自民党の宿願だった

―「国鉄」・教育・憲法を考える(中)―

「団結権」を権利とする者は二〇・四%

―政治状況と日本人の権利意識―

◇福祉問題シリーズ②◇

老年人・年金生活者到大増税

社会保障料も大幅アップ

若者たちの意識と行動

―連合「青年意識調査」から―

反米帝闘争を放棄した日本共産党？

読者からのおたより

伊勢 太郎

No. 954 (二〇〇五年二月二日)

◇巻頭言◇ ニート、フリーター考

沖縄・辺野古への連帯

―大西照雄へり基地反対協議会代表委員のお話から―

「しょうがい」児教育の今日的到達点

―文部科学省の攻撃及び我が校の取り組み―

◇投稿◇ 竜君―その後

JR新宿駅六つのホームに七つのエレベーターが完成！

「駅・周辺の安全とバリアフリーを考える集い」ご参加を！

◇福祉問題シリーズ③◇

六五歳以上の年金生活者に信じられないぐらいの負担増

住民税非課税から課税に

郵政民営化 一〇年越しの運動に備えよう

当面は柔らかく、いつでも変えられるように

―憲法改悪を考える(下)―

訪韓は幹部修練会！？

読者からのおたより

原 義弘

滝野 忠

羽川 健治

稲村 ひづる

原 義弘

塚原 久雄